

第 48 回インナーゼミナール大会

ゼミ名	森ゼミ	チーム名	ドリームフューチャー
タイトル	夢のリニアモーターカー		
テーマ群	公共経済 産業・企業		
メンバー			
研究計画内容	<p>今回私たちのチームは、新幹線の料金とリニアモーターカーの料金を比較し、消費者が交通機関に速さを求めるのか、料金の安さを求めるのか、まだ現実していないリニアモーターカーの仮想的な交通費用をCVM (Contingent Valuation Method : 仮想評価法) というアンケート実験を通じて調べる。“仮想評価法 (CVM)”とは、この世にはまだ存在しない仮想的な財・サービスに対する人々の支払い意思額を実験を通じて評価する方法である。今回私たちのチームでは、新幹線の料金と比較する形で、まだ現実に提供されていないリニアモーターカーのサービス料金を割り出すことで、2つのサービス(新幹線という現実的に存在するものとリニアモーターカーという仮想的なもの)を比較し分析し、消費者が交通機関に速さを求めるのか、料金の安さを求めるのか調べる。さらに、年齢や性別で時間とお金の価値は違うと考えるため、この違いを調べることで、それぞれの交通機関の需要を知ることができると思う。例えば、若年者は早さより料金が安い方を求める傾向があるかもしれないし、高齢者は料金の安さよりも早さや最新設備に重点を置き、高い対価を支払ってもよいと考えるかもしれない。リニアモーターカーとは、磁力で車両を高速浮上走行し、低空飛行するのが特徴で、東京—大阪間を最短 67 分で結ぶ夢の乗り物である。そんなリニアモーターカーは後 10 年で実用化されようとしている。新幹線のぞみの品川—名古屋間における最短所要時間は 1 時間 29 分で運賃・料金は、自由席は 10,360 円。一方リニアは所要時間を 55%も減らしながら、運賃・料金は 6%しか上がらない。これからの交通機関はどうなっていくのか疑問に思った。実際に“仮想評価法”で、新幹線とリニアモーターカーを比較しながら、いくら新幹線にプラスしてまで、リニアモーターカーに乗りたいか調査し、人々のお金と時間の価値の優先度を分析する。</p>		

--	--

研究計画書